

## 令和5年度第1回我孫子市在宅医療介護連携推進協議会 議事録

開催日時 令和5年5月18日(木)午後6時30分から午後7時30分  
開催場所 ZOOM 会議  
出席者 委員：12名  
佐藤昭宏、仲村信慶、小野武弘、佐々木美保、松山光貴、井上稔、  
寺山加恵、木村幸恵、荒川千草、大野令子、星良子、岡安一将  
国保年金課：3名  
澤井主任、山梨主任、池田主任  
事務局：8名  
飯田健康福祉部部長  
高齢者支援課  
長島課長、三井課長補佐、松本係長、石川係長、  
宮路総括主査、宇佐見主査、中村主任  
傍聴者：なし  
司会：介護支援専門員連絡協議会 松山光貴

### 【議題】

#### (1) 委員の委嘱

我孫子市在宅医療介護連携推進協議会設置要綱第3条に基づき市長が委嘱し任命することとなっている。同第4条に基づき任期は2年。委嘱状は送付済であり、令和5年4月1日から令和7年3月31日までの任期で、令和5年4月1日付で委嘱とする。

#### (2) 会長・副会長選出

会長と副会長については、自薦他薦なし。事務局より、会長に医師会の佐藤医師を推薦。出席した全委員の承認を得て、会長は佐藤医師に決定する。佐藤会長より、副会長は薬剤師会の小野薬剤師を推薦。出席した全委員の承認を得て、副会長は薬剤師会の小野薬剤師に決定する。

#### (3) 令和4年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動報告

以下、報告書の通り報告する。質疑なし。

### 1. 協議会(年4回)

第1回 令和4年4月21日(木)午後6時30分から(オンライン)

出席者：委員15名、国保年金課 2名、事務局 9名、傍聴者 0名

議 題：①令和3年度活動報告、②令和4年度活動計画、③多職種交流会振り返り、  
④「認知症初期相談チームあびこ」の報告

第2回 令和4年8月25日(木)午後6時30分から(オンライン)

出席者：委員16名、国保年金課 2名、事務局 3名、傍聴者 0名

議題：①令和4年度部会活動計画、②東葛北部圏域 在宅医療・介護連携に関する5市連携会議報告、③栄養関連団体の参画について、④「認知症初期相談チームあびこ」の報告

第3回 令和4年11月24日(木)午後6時30分から(オンライン)

出席者：委員17名、国保年金課 2名、事務局 6名、傍聴者 0名

議題：①我孫子市版エンディングノートについて、②我孫子市公式LINEの登録のお願いについて、③RUN伴+あびこ及びオレンジデーの報告、④『在宅医療・介護連携リスト』の改訂について、⑤市民向け講演会の内容(案)について、⑥在宅医療・介護連携推進に係る取り組み報告について、⑦「認知症初期相談チームあびこ」の報告

第4回 令和5年3月2日(木)午後6時30分から(オンライン)

出席者：委員17名、国保年金課 0名、事務局 5名、傍聴者 0名

議題：①市民向け講演会の内容について、②『在宅医療・介護連携リスト』の改訂版について③西地区地域ケア会議の報告、④令和5年度の在宅医療・介護連携推進協議会の体制について、⑤「認知症初期相談チームあびこ」の報告

## 2. 情報共有システム部会

第13回 令和4年7月26日(火)午後6時30分から(オンライン)

出席者：4名

議題：①「あびこ・ケアリンク」利用状況について、②メディカルケアステーション 改定内容について、③今後の部会での活動方針について

## 3. 研修部会

第11回 令和4年7月4日(月)午後6時00分から(オンライン)

出席者：6名

議題：①全体交流会と地区別交流会の開催検討について  
②講義のテーマと講師について、開催時期について

## 4. 広報部会

第15回 令和4年6月23日(木)午後6時30分から(オンライン)

出席者：10名

議題：①市民向け講演会について、②在宅医療・介護連携リストの改訂について  
③広報あびこ 掲載計画について

第16回 令和4年10月13日(木)午後7時15分から(オンライン)

出席者：9名

議題：①広報部会 役割分担について、②在宅医療・介護連携リストの内容見直しに向けての検討について、③市民向け講演会の内容について

第17回 令和4年12月22日(月)午後7時15分から(オンライン)

出席者：5名

議 題：①市民向け講演会の内容について

第18回 令和5年2月16日（月）午後7時15分から（オンライン）

出席者：5名

議 題：①市民向け講演会の内容について最終確認

\*広報あびこ 掲載記事

第19回（令和4年6月16日号）服薬管理の支援（薬剤師会）

～薬剤師に相談したことで適切な服薬管理になり家族の負担を軽減できたケース～

第20回（令和4年9月16日号）介護老人保健施設の利用（介護サービス事業者連絡協議会）

～栄養失調で入院していた方が、健康的に自宅で生活できるようになったケース～

第21回（令和5年1月16日号）在宅医療と介護の連携（高齢者なんでも相談室）

～さまざまな最期のカタチ～

#### （4）市民向け講演会報告

以下、報告書の通り報告する。質疑なし。

令和4年度 我孫子市在宅医療介護連携・市民講演会

開催日時：令和5年3月5日（日）午後2時00分から午後4時30分

開催場所：オンライン及び会場（ハイブリット研修及び座談会）

参加人数：68名（うち事務局8名）

テーマ：様々な看取りのカタチ ～在宅医療と介護の現場から～

##### 【第1部】基調講演

講演：在宅医療の実際

講師：のぞみの花クリニック 医師 古賀 友之 氏

会場：あびこ市民プラザ ホール

##### 【第2部】座談会

●施設での看取り 渡邊 慎 氏 特別養護老人ホーム 久遠苑 施設長

●病院での看取り 染谷 真裕子 氏 平和台病院患者支援センター 看護師

●在宅での看取り 我孫子市内で看取りを経験された家族の方 2名

アンケート結果（回収50名）

・講演会の内容は参考になりましたか

『在宅医療の実際』は8割の方、『施設での看取り』『病院での看取り』は6割の方、『在宅での看取り』は7割の方が、参考になったと回答。

・ご自身の看取りの場について話し合ったことはありますか

『ある』20名、『なし』24名。『ある』と回答した方は、家族、友人、知人、親戚、施設等と話し合いをしたと回答。

・在宅医療に関する不安はありますか。

『家族への負担』に不安を抱く方が最も多く、次に『費用の負担』、『必要な医療・介護が受けられるか』『自分の望む暮らしを選べるか』と回答。

感染対策のため会場の人数制限を実施しオンラインとの併用で開催したが、講演途中で接続が不安定となり一部声が聞き取りにくい場面があった。そのためアンケートでは通信関係への意見・要望が多くあった。

今回の講演会では、在宅医療、施設、医療機関での様々な看取りのカタチや、実際に看取られた家族の経験をお話いただいた。人生の最終段階における医療・ケアの在り方は一様ではないため、その時々で、本人や家族が話し合い、納得できる最後を迎えることが大切。そのためには、我孫子市での在宅医療や在宅介護の支援体制を整え、専門職同士の連携、市民への情報提供等が必要不可欠。今回の市民の方の意見は、今後の我孫子市の在宅医療・介護連携推進事業の方向性を検討する材料として活用していきたいと考えている。

#### (5) 令和5年度我孫子市在宅医療・介護連携推進協議会活動計画

以下、計画書の通り報告する。質疑なし。

『在宅医療・介護連携推進協議会』及び『専門部会』の2つの組織により取り組みを進める。『在宅医療・介護連携推進協議会』は協議会の意思決定を行う場であり、在宅医療・介護連携における課題抽出の場という位置づけ。『専門部会』は、主に多職種連携に関するイベント等の取り組みや、市民への広報などについて検討する。開催回数は、『在宅医療・介護連携推進協議会』は5月・11月の年2回の実施、『専門部会』は年に2回の開催とするが、イベントや広報を行うにあたって、必要な場合には柔軟に集まって議論を進めていくことも可能。委員数は、『在宅医療・介護連携推進協議会』が13名、『専門部会』は高齢者なんでも相談室、介護支援専門員連絡協議会、介護サービス事業所連絡協議会、訪問看護ステーションの8名。また、在宅医療・介護連携推進協議会は『認知症初期相談チーム検討委員会』の機能を兼ねており、認知症初期相談事業が当該事業を推進していくための検討の場とする。

#### 【協議会が目指すもの】

誰もが、医療やケアが必要になっても、人生の最期まで、自分らしい暮らしを継続できる地域を創造するため、住民の意識の醸成、専門職の知識・技術の向上を図り、多職種が効果的に連携できる体制を構築すること。具体的には、高齢者本人及び家族、専門職が多様な看取りの在り方についての具体的なイメージを共有し、在宅での看取りに限らず、本人や家族が納得できる最期を迎えるための相談支援体制の構築を目指す。

##### 1) 在宅医療・介護連携の推進

多職種連携による在宅医療・介護の支援体制の構築と、地域における包括的な支援体制づくりを推進するために協議を行う。年2回開催する。

令和5年度 第1回 令和5年 5月18日(木) ZOOM・リモート開催

第2回 令和5年11月16日(木) ZOOM・リモート開催

○情報の共有・連携を図る手段である「あびこ・ケアリンク」の利用を引き続き推進する。

## 2) 在宅医療・介護連携に必要な知識の向上

在宅医療に関わる専門職の必要な知識の向上と、在宅医療・介護の支援効果を最大化させるために必要な多職種連携の在り方について考える。

○多職種交流会の実施：開催方法・日時は部会で検討する

○地域包括ケア会議の活用：高齢者なんでも相談室が実施する地域ケア会議を活用し多職種間の顔の見える関係づくりを促進

○各団体で実施する研修等への参加：高齢者なんでも相談室が実施するオンライン事例検討会等、多職種が参加し学習や意見交換をする場がある。在宅医療・介護連携を目的としたものではないが、多職種間での連携の基盤づくりとして相互に参加できるよう情報交換する。

## 3) 市民への在宅医療・介護の普及啓発

在宅医療や介護サービス等を利用することの具体的なイメージを持てるよう、家族や身近な支援者との対話を促進する。

○「広報あびこ」への在宅医療・介護に関する記事の定期掲載や講話を通じて、市民に在宅医療と介護の連携についての啓発活動を行う。

○在宅医療に関する市民向け講演会の実施

○在宅医療・介護連携リスト（専門職向け）必要に応じて見直しを検討する。

○在宅医療ハンドブック（市民向け）必要に応じて見直しを検討する。

○人生会議の推進・終活支援。終末期の具体的なイメージづくりの促進と、家族間の対話の促進のため、我孫子市版のエンディングノート及び終活便利帳を活用するとともに、高齢者なんでも相談室が終活講座を実施する。

※令和5年8月10日（木）市内5か所でパブリックビューイング形式により実施予定

## 4) 在宅医療・介護連携に関する相談窓口

○在宅医療・介護連携に関する第1義的な相談窓口は高齢者なんでも相談室。

○サービス調整等はケアマネジャーを中心に行う。

## 5) 我孫子市の在宅医療・介護連携状況の見える化

○KDBデータの活用について国保年金課と協議

## 6) その他在宅医療・介護に関すること

○認知症初期集中支援チームの検討委員会機能を兼ねているため、活動状況の報告及び検討を行う。

## (6) 「認知症初期相談チームあびこ」の報告

非公開のため記載せず。

## (7) その他 湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室 星室長

RUN 伴+について。昨年度まで『RUN 伴+』という名前を使っていたが、今年度から『あびこ

ね』と変更になる。『あびこ』と『コネクション（つながり）』をあわせたもの。認知症の方々はじめ多くの方とつながりながら、みんなの笑顔が増えるようにこれからも楽しい元気な活動をしていきたい。『RUN 伴+』は走るイベントとして継続、オレンジのものを身に着けて走りましょうということで、オレンジデーも継続する。事務局は引き続き湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室が担当する。湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室は、6月4日に以前お休み処があった場所に移転予定。

#### 次回開催予定

日時：令和5年11月16日（木）午後6時30分から午後8時

会場：オンライン

司会：介護サービス事業者連絡協議会